

コープこうべ 平和へのちかい

20世紀は、2つの世界大戦によって大きく揺れ動いてきました。

21世紀の今もなお、民族や宗教の違いなどによる紛争は尽きることがありません。また大きな自然災害や激変する社会不安の中で「いのち」への^{いけい}畏敬の念※が失われたり、弱い立場の人たちほど痛みと苦しみを背負うことを余儀なくされています。

このような「今」を生きる私たちの責務は、すべての人々が平和で安心してらせる社会を、次世代に引き継いでいくことです。

未来に続く平和の実現に向けて、私たちはここに「平和へのちかい」を定め、平和の取り組みを一層強めていくことをちかいます。

過去や現在のくらしの中から平和を見つめ、 次世代に「平和の尊さ」を伝えましょう。

私たちは、「平和の尊さ」を再認識するため、歴史を学び、日々のくらしの中から平和を見つめる取り組みを進めます。また、過去の過ちを繰り返すことなく、平和な未来を確かなものとするために、「平和の尊さ」を次世代に語り継ぐ取り組みを進めます。

地球的視野で、世界の人々と、 文化やくらしの相互理解を深めましょう。

私たちは、平和な世界を実現するために、世界の国々の歴史や文化を学び、違いを認め、理解し合い、くらしの視点で「平和」について考える取り組みを進めます。

※畏敬の念：^{すうこう}崇高、あるいは偉大なものや人をおそれうやまう思い

(2000年5月平和委員会で確認)
(戦後60年を機に2006年3月改訂)
(2019年12月「平和企画の会」で修正)

